

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツ振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	11	スポーツ振興に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	19,035千円	30,404千円	30,546千円	0千円
	総人件費	3,693千円	14,635千円	21,740千円	
	総事業コスト	22,728千円	45,039千円	52,286千円	

事務事業名	01	つくば市体育協会等補助	指標名	会員数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	つくば市体育協会会員数 (専門部, スポーツ少年団会員数)
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		
戦略プラン	-	-	-	9,000人	9,000人	9,000人	9,000人	9,000人	9,000人	9,000人		
	-	-	-	実績	9,226人	9,135人	9,266人	9,105人	-			
総合戦略	H29年度				H30年度				その他の指標	つくば市レクリエーション協会会員数: 26人		
	改善目標	財政援助団体等監査の指摘事項の進捗について、定期的に確認し、指導、監督を行う。				改善目標	財政援助団体等監査の指摘事項や組織基盤強化の進捗について、引き続き定期的に確認し、指導、監督を行う。					
市長公約	-											
個別計画	つくば市スポーツ推進計画											
根拠法令等	スポーツ基本法											
事業分類	E 補助金・負担金事業											
執行体制	補助金(直接)											
事業の目的	市民のスポーツ活動や交流を促進させる団体の組織基盤を強化し、地域のスポーツ活動を推進するため。											
事業の概要	スポーツレクリエーション活動を展開するつくば市体育協会及びつくば市レクリエーション協会に補助金を交付し、活動を支援する。											
活動実績	H29年度				H30年度				上半期活動実績	上半期成果		
	【つくば市体育協会】 スポーツ専門部会、スポーツ少年団、スポーツ振興会において各種大会や講習会等を実施した。 本部事業としては、リーダー養成講習会やスポーツ鬼ごっこの推進活動を実施した。また、6月に「つくばスポーツデー」の主催、8月に「まつりつくば2017ゼビオスポーツパーク」の主管、11月に「つくばマラソン」の協力、1月に「つくばユナイテッドサンガイアホームゲーム」の共催、2月に「つくば健康マラソン」の協力としてスポーツ・レクリエーション事業を実施した。 【つくば市レクリエーション協会】 ・毎月第2水曜日定例会開催・県レクリエーション協会理事会(4月)、評議員会(5月)出席・6月10日;この宮児童館レク提供・協力事業「あそびの日」・6月18日;土浦市レクリエーション協力事業「市民ウォークラリー」・11月3日;つくばマラソン打ち合わせ・11月14日;真瀬地区研修会レク提供事業・11月18日;この宮児童館レク提供・協力事業「児童館まつり」・11月26日;つくばマラソンボランティア・12月9日;高崎地区子供会レク提供事業・2月17日;この宮児童館レク提供・協力事業「制作遊び」・3月4日;若栗・若葉地区子供会レク提供事業	-										
成果	各団体が行う地域や市民のスポーツ、レクリエーション活動を推進することができた。また、監査指摘事項である組織の安定化に向けた取組状況を確認した。											
課題	自立して安定した組織運営や会計処理の手続き等の適正を図るため、情報収集を行いながら方向性を検討していく。											
ISO 14001	H29 環境関連性	-										
	H30 環境関連性	-										
事業の進捗状況	達成	-				改善目標の進捗状況	-					
	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-					
評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-					
	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-					
事業実施コスト	H28年度決算	19,035千円				H29年度決算	19,035千円					
	H30年度当初	19,035千円				H31年度当初	0千円					
事業費(A)	国庫支出金	0千円				県支出金	0千円					
	地方債	0千円				その他特財	0千円					
一般財源	一般財源	19,035千円				人件費(B)	3,693千円					
	従事割合	0.50人				時間外勤務	11.00時間					
臨時職員等	臨時職員等	無				事業コスト(A+B)	22,728千円					
	H31年度当初積算根拠	-										
H31年度の方向性	理由 -											

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	19,035千円	30,404千円	30,546千円	0千円
	総人件費	3,693千円	14,635千円	21,740千円	
	総事業コスト	22,728千円	45,039千円	52,286千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツ振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	11	スポーツ振興に要する経費

事務事業名		02 スポーツ推進計画策定検討業務			指標名	-				指標種別	-				指標の概要		-														
戦略プラン		-			目標値	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度		H32年度		-											
		-			実績	-		-		-		-		-		-		-		-											
総合戦略		-			改善目標	H29年度								H30年度								その他の指標		-							
		-				-																-									
市長公約		-			事業計画	つくば市スポーツ推進計画の中間年度(平成30年度)に見直しを行うため、その基礎資料として、情報収集などを行う。 ・スポーツ活動調査(アンケート)を実施 ・現つくば市スポーツ推進計画の課題等の抽出 ・国県等の関連計画、先進事例の情報収集など																事業実施コスト		H28年度決算		H29年度決算		H30年度当初		H31年度当初	
個別計画		つくば市スポーツ推進計画				平成30年度のスポーツ推進計画見直しに向け、9月に筑波大学との間で「つくば市スポーツ推進計画策定支援業務(第1期)」の委託契約を締結した。 ・9月27日:委託契約締結 ・10月27日:第2回スポーツ推進審議会の運営支援(資料作成補助) ・11月～1月:スポーツ活動に関する調査アンケートの実施支援 ・3月:アンケート調査の集計 ・3月22日:第3回スポーツ推進審議会の運営支援(資料作成補助) ・3月:平成29年度つくば市スポーツ活動調査結果報告書作成																事業費(A)		0千円		3,668千円		3,575千円		0千円	
根拠法令等		スポーツ基本法			活動実績	-																国庫支出金		0千円		-		-		0千円	
事業分類		A 任意的事业				-																県支出金		0千円		-		-		0千円	
執行体制		一部委託			成果	-																地方債		0千円		-		-		0千円	
事業の目的		つくば市スポーツ推進計画において位置づけられている中間年度(平成30年度)の計画の見直しを検討するため。				-																その他特財		0千円		-		-		0千円	
事業の概要		次年度の計画見直しの基礎資料として、情報の収集などを行う。 ・スポーツ活動調査(アンケート)の実施 ・つくば市スポーツ推進計画課題の抽出 ・国県等の関連計画、先進事例の情報収集など			課題	-																一般財源		0千円		3,668千円		3,575千円		0千円	
ISO14001		H29環境関連性				事業の進捗状況		達成		改善目標の進捗状況		-		事業の進捗状況		-		改善目標の進捗状況		-		人件費(B)		0千円		4,341千円		11,511千円			
		H30環境関連性			有効性		中:適切な成果が得られている				有効性		-				正職員		従事割合		0.00人		0.60人		1.60人						
					効率性		中:適切な費用対効果が得られている				効率性		-				内職		時間外勤務		0.00時間		30.00時間		55.00時間						
					総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価		-				臨時職員等		無		無		無								
																					事業コスト(A+B)		0千円		8,009千円		15,086千円				
																					H31年度当初積算根拠		-								
																					H31年度の方向性		-		理由		-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツ振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	11	スポーツ振興に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	19,035千円	30,404千円	30,546千円	0千円
	総人件費	3,693千円	14,635千円	21,740千円	
	総事業コスト	22,728千円	45,039千円	52,286千円	

事務事業名	03	スポーツ推進委員協議会				指標名	イベント等協力・参加者数(延べ)				指標種別	活動結果指標				指標の概要	市が開催するイベント等において協力、参加したスポーツ推進委員数																																																											
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度																																																									
戦略プラン	-	-	-	-	-	294人	300人	300人	300人	300人	300人	300人	300人	-	-	-	-																																																											
総合戦略	-	-	-	-	-	307人	247人	269人	269人	-	-	-	-	-	-	-	-																																																											
市長公約		-																																																																										
個別計画		スポーツ基本計画 つくば市スポーツ推進計画																																																																										
根拠法令等		スポーツ基本法 つくば市スポーツ推進委員規則																																																																										
事業分類		C 義務的事业																																																																										
執行体制		職員のみ																																																																										
事業の目的		市が開催するイベント等において企画、助言、協力をし、また市民に対し実技指導を行いつくば市の体育振興に貢献するため。																																																																										
事業の概要		市主催の事業へ参加協力し、全国、関東、県、県南の各協議会への委員の派遣を行う。また、地域住民へのスポーツ推進のためイベント等の企画立案に参画する。																																																																										
活動実績		<ul style="list-style-type: none"> 市主催事業(つくば学園ウオークラリー大会、つくばスポーツフェスティバル、つくばマラソン、つくば健康マラソン)への係員協力。 つくば市スポーツ推進委員研修会、県南スポーツ推進委員協議会研修会、県スポーツ推進委員協議会女性研修会に参加。 つくば市で開催される全国スポーツ推進委員研究協議会茨城大会への協力、参加。 																																																																										
成果		<ul style="list-style-type: none"> 市が開催するスポーツイベント等への協力により、円滑な大会運営に貢献した。 市体育協会と連携し、地域スポーツ活動の企画・立案・実施等、地域のスポーツ振興に貢献した。 全国大会プログラム協賛金のつくば市割当分を達成できた。 																																																																										
課題		-																																																																										
改善目標		-																																																																										
事業の進捗状況		達成				改善目標の進捗状況				-				事業の進捗状況		-		改善目標の進捗状況		-																																																								
評価		有効性				中：適切な成果が得られている				有効性				-				有効性		-																																																								
		効率性				中：適切な費用対効果が得られている				効率性				-				効率性		-																																																								
		総合評価				B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				-				総合評価		-																																																								
ISO 14001		<table border="1"> <tr> <th>H29 環境関連性</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <th>H30 環境関連性</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>															H29 環境関連性	-	-	-	-	-	H30 環境関連性	-	-	-	-	-																																																
H29 環境関連性	-	-	-	-	-																																																																							
H30 環境関連性	-	-	-	-	-																																																																							
事業実施コスト		<table border="1"> <tr> <th>事業実施コスト</th> <th>H28年度決算</th> <th>H29年度決算</th> <th>H30年度当初</th> <th>H31年度当初</th> </tr> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>0千円</td> <td>3,978千円</td> <td>3,017千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>0千円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0千円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0千円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他特財</td> <td>0千円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0千円</td> <td>3,978千円</td> <td>3,017千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>人件費(B)</td> <td>0千円</td> <td>3,681千円</td> <td>3,630千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員</td> <td>従事割合</td> <td>0.00人</td> <td>0.50人</td> <td>0.50人</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>時間外勤務</td> <td>0.00時間</td> <td>50.00時間</td> <td>30.00時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>臨時職員等</td> <td>無</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業コスト(A+B)</td> <td>0千円</td> <td>7,659千円</td> <td>6,647千円</td> </tr> </table>															事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	事業費(A)	0千円	3,978千円	3,017千円	0千円	国庫支出金	0千円	-	-	0千円	県支出金	0千円	-	-	0千円	地方債	0千円	-	-	0千円	その他特財	0千円	-	-	0千円	一般財源	0千円	3,978千円	3,017千円	0千円	人件費(B)	0千円	3,681千円	3,630千円		正職員	従事割合	0.00人	0.50人	0.50人	内訳	時間外勤務	0.00時間	50.00時間	30.00時間		臨時職員等	無	無	無		事業コスト(A+B)	0千円	7,659千円	6,647千円
事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初																																																																								
事業費(A)	0千円	3,978千円	3,017千円	0千円																																																																								
国庫支出金	0千円	-	-	0千円																																																																								
県支出金	0千円	-	-	0千円																																																																								
地方債	0千円	-	-	0千円																																																																								
その他特財	0千円	-	-	0千円																																																																								
一般財源	0千円	3,978千円	3,017千円	0千円																																																																								
人件費(B)	0千円	3,681千円	3,630千円																																																																									
正職員	従事割合	0.00人	0.50人	0.50人																																																																								
内訳	時間外勤務	0.00時間	50.00時間	30.00時間																																																																								
	臨時職員等	無	無	無																																																																								
	事業コスト(A+B)	0千円	7,659千円	6,647千円																																																																								
H31年度当初積算根拠		-																																																																										
H31年度の方向性		理由 -																																																																										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	19,035千円	30,404千円	30,546千円	0千円
	総人件費	3,693千円	14,635千円	21,740千円	
	総事業コスト	22,728千円	45,039千円	52,286千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツ振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	11	スポーツ振興に要する経費

事務事業名	04 スポーツ推進審議会事業				指標名	スポーツ推進審議会開催数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	スポーツ推進審議会を開催した数 (平成29,30年度は、スポーツ推進計画の見直しを検討するため審議会開催数を増やします。)					
	戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
				実績	1回	2回	2回	3回	6回	2回	2回										
総合戦略					改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
市長公約	-				事業計画	スポーツ推進審議会を年度内3～4回開催する。 【6月1日】第1回つくば市スポーツ推進審議会開催 平成28年度つくば市スポーツ推進計画の進行管理及びつくば市スポーツ推進計画策定検討 【8月】つくば市スポーツ推進審議会委員委嘱状交付 【9月】第2回つくば市スポーツ推進審議会 【2月】第3回つくば市スポーツ推進審議会				スポーツ推進審議会を年度内6回開催 【5月8日】第1回つくば市スポーツ推進審議会開催 ・平成29年度つくば市スポーツ推進計画の進行管理及びつくば市スポーツ推進計画策定検討・つくば市スポーツ推進計画中間見直し策定の諮問・つくば市スポーツ推進計画中間見直し骨子(案)の審議など 【6月】第2回つくば市スポーツ推進審議会開催 ・つくば市スポーツ推進計画中間見直し案の審議など 【7月】第3回つくば市スポーツ推進審議会開催 ・つくば市スポーツ推進計画中間見直し案の修正など 【8月】第4回つくば市スポーツ推進審議会開催 ・つくば市スポーツ推進計画中間見直し案の確定など 【9月】第5回つくば市スポーツ推進審議会開催 ・つくば市スポーツ推進計画中間見直し策定など 【1月】第6回つくば市スポーツ推進審議会開催 ・パブコメ結果報告、計画(案)、概要(案)・推進計画中間見直し策定答申(案)など				事業実施コスト				H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	スポーツ基本計画 つくば市スポーツ推進計画					活動実績	・スポーツ推進審議会委員 6月1日 第1回スポーツ推進審議会 内容：平成28年度スポーツ推進計画進行管理について 10月27日 第2回スポーツ推進審議会 内容：委員改選委嘱状交付、会長選任、スポーツ推進計画策定スケジュール、スポーツ推進計画進行管理状況及びアンケート調査の実施 3月22日 第3回スポーツ推進審議会 内容：スポーツ推進計画進行管理における審議会委員からの意見等の反映状況、「スポーツ活動に関する調査」の結果、スポーツ推進計画中間見直し骨子(案)づくりに向けた施策、事業等の洗い出し				事業費(A)				0千円	3,723千円	4,919千円	0千円			
根拠法令等	スポーツ基本法 つくば市スポーツ推進審議会条例				成果		・今後実施するスポーツ関連事業に反映させることができるよう提言・助言をいただいた。 ・特にスポーツ推進計画進行管理における審議会委員の意見については、担当各課にもフィードバックし、意見の反映状況等について調査し、審議会に報告した。				国庫支出金				0千円	-	-	0千円			
事業分類	C 義務的事業					課題	-				地方債				0千円	-	-	0千円			
執行体制	職員のみ				事業の目的		つくば市長の諮問機関として、有識者及びスポーツ専門家の立場から、つくば市スポーツ推進に関する施策について意見を求め、提言、助言を施策の参考にするため。				その他特財				0千円	-	-	0千円			
事業の概要	つくば市が実施するスポーツ推進の施策について意見を求め、提言、助言を施策の参考にする。					事業の進捗状況	-				一般財源				0千円	3,723千円	4,919千円	0千円			
									人件費(B)				0千円	4,429千円	5,139千円						
ISO 14001	H29 環境関連性	-			評価	有効性 中：適切な成果が得られている				正職員				0.00人	0.60人	0.70人					
	H30 環境関連性	-				効率性 中：適切な費用対効果が得られている				時間外勤務				0.00時間	65.00時間	65.00時間					
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				臨時職員等				無	無	無					
										事業コスト(A+B)				0千円	8,152千円	10,058千円					
															H31年度当初積算根拠	-					
																H31年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	5,866千円	5,752千円	6,542千円	0千円
	総人件費	14,472千円	7,284千円	7,284千円	
	総事業コスト	20,338千円	13,036千円	13,826千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツレクリエーション係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	12	スポーツ教室開催に要する経費

事務事業名	01 スポーツ教室開催事業				指標名	スポーツ教室参加人数(延べ)				指標種別	活動結果指標				指標の概要	各種スポーツ教室の参加人数												
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																
戦略プラン	-				実績	1,381人	1,105人	1,271人	927人	-	-	-					その他の指標	-										
	-																											
総合戦略	Ⅲ	1	5	スポーツの振興	改善目標	H29年度				H30年度																		
						改善目標	国体のアーチェリー以外の種目も教室開催できるよう準備し、新たな教室も含めて、引続きすすめていく。				改善目標	・国体のPRも兼ねた教室や企画公募で決定した新たな教室も含めて開催していく。																
市長公約	-				事業計画	カポエイラ(公募による新規) 5回 体幹トレーニング(公募による新規) 4回 スポーツ鬼ごっこ(国体デモ部門) 1回 ストリートダンス(国体デモ部門新規) 4回 アーチェリー(国体正式) 4回×2回 トレイルラン 4回、アフロリズムダンス 4回、子どものラート 1回、子どものバレーボール 1回、大人のバレーボール 3回、大人のラート 3回、子どものスキー(2泊3日)				下記の12教室を実施する。 ・アーチェリー(国体正式種目):全4回 ・ウエイトトレーニング(国体公開競技):全4回 ・ダンス&パフォーマンス(国体デモ部門):全4回 ・スポーツ鬼ごっこ(国体デモ部門):全2回 ・脳と身体のトレーニング(企画公募・新規):全4回 ・リズムに合わせて心と身体のストレッチ:全3回 ・体幹トレーニング:全6回 ・トレイルラン:全4回 ・大友愛のバレーボール:全4回 ・子どものラート:全1回 ・大人のラート:全3回 ・ランニング:全4回(市長公約:ランナーに愛されるまち) ・子どものスキー(2泊3日)				事業実施コスト					H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初						
個別計画	つくば市スポーツ推進計画					活動実績	下記の教室を実施した。 【参加者延べ人数】 カポエイラ(17名)、体幹トレーニング(111名)、 スポーツ鬼ごっこ(22名)、ストリートダンス(75名)、 アーチェリー①(53名)、アーチェリー②(48名)、 トレイルラン(110名)、アフロリズムダンス(34名)、 ラート 子ども(12名)、大人(60名)、 バレーボール 子ども(33名)、大人(103名)、 ウエイトトレーニング(32名)、ランニング(97名)、 子どものスキー(120名) 合計927人				上半期活動実績				事業費(A)					5,866千円	5,752千円	6,542千円	0千円					
根拠法令等	スポーツ基本法				成果		・計画していた12種類の教室のほか、2019年に開催される茨城国体に向けた「ウエイトトレーニング教室」と、市長公約である「ランナーに愛されるまち」の実現に向けた「ランニング教室」の2種類の教室を実施することができた。 ・より多くの市民にスポーツを始めるきっかけを提供し、教室参加者同士の交流を図ることができた。				上半期成果				内訳					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業分類	A 任意的事業					課題	・参加者も含めた市民の意見を参考に、より多くの市民がスポーツを始めるきっかけづくりとなる教室を取り入れていく。				課題				県支出金					0千円	0千円	0千円	0千円					
執行体制	一部委託												地方債					0千円	0千円	0千円	0千円							
事業の目的	市民のスポーツ振興の啓発、市民どうしが交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図るため。												その他特財					1,148千円	502千円	801千円	0千円							
													一般財源					4,718千円	5,250千円	5,741千円	0千円							
事業の概要	市民を対象に広報誌・つくば市HP・facebook・地域情報紙等で募集を行い、各教室を開催する。												人件費(B)					14,472千円	7,284千円	7,284千円								
													正職員					従事割合	1.95人	1.00人	1.00人							
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況				達成	改善目標の進捗状況			達成	事業の進捗状況				-	改善目標の進捗状況			-						
	H30 環境関連性	-			評価				有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-				H31年度当初積算根拠					-	理由				
																臨時職員等					無	無	無					
																事業コスト(A+B)					20,338千円	13,036千円	13,826千円					
																H31年度当初積算根拠					-							
																事業実施コスト					H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初				
																事業費(A)					5,866千円	5,752千円	6,542千円	0千円				
																国庫支出金					0千円	0千円	0千円	0千円				
																県支出金					0千円	0千円	0千円	0千円				
																地方債					0千円	0千円	0千円	0千円				
																その他特財					1,148千円	502千円	801千円	0千円				
																一般財源					4,718千円	5,250千円	5,741千円	0千円				
																人件費(B)					14,472千円	7,284千円	7,284千円					
																正職員					従事割合	1.95人	1.00人	1.00人				
																時間外勤務					70.00時間	70.00時間	70.00時間					
																臨時職員等					無	無	無					
																事業コスト(A+B)					20,338千円	13,036千円	13,826千円					
																H31年度当初積算根拠					-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	スポーツレクリエーション係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	13	スポーツ大会開催に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	22,998千円	24,472千円	25,081千円	0千円
	総人件費	17,620千円	17,040千円	18,935千円	
	総事業コスト	40,618千円	41,512千円	44,016千円	

事務事業名	01 各種スポーツ大会開催事業			指標名	つくばマラソン出走者数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくばマラソンに出走したランナーの数		
	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
戦略プラン	I	3	1	スポーツの振興	16,000人	18,000人	18,000人	18,000人	18,000人	18,000人	18,000人			
	-	-	-	-	実績	13,763人	15,728人	15,426人	15,058人	-				
総合戦略	III	1	5	スポーツの振興	H29年度				H30年度					
	-	-	-	-	改善目標	(つくばマラソン) 悪天候時の多目的グラウンドの対策と利用方法を考える。また、ウェーブスタート、陸連登録エリア(Aブロック)の制限タイムがBブロックよりも遅くなっており、スタート時の安全性について検討する。				改善目標 (つくばマラソン) ・沿道応援を活性化させるために、引き続き応援団体の公募を行うとともに、個別に団体に依頼をして、沿道応援を増やす。 ・また、ランナーアンケートに応援に関する項目も追加したので、その結果も参考にしていく。 (健康マラソン) ・協賛社を追加するなど、企業等との連携を図り、大会をより発展させていくとともに、ランナーサービスの向上を目指す。				
市長公約	-			事業計画	(つくばマラソン) 大会テーマである「マラソンを科学する」を継続し、37回大会は新たな「科学する」テーマを定め、更なる大会の発展を目指す。 (その他の大会) 健康マラソン、つくば学園ウォークラリー、市長杯サッカー、市長杯オープンテニス、スポーツ鬼ごっこ、荒川区交流野球、TX沿線自治体交流サッカー、スポーツフェスティバルなど				(つくばマラソン) ・大会テーマである「マラソンを科学する」の取組により他大会との差別化を図る。H32年度の大会から日本陸連のコース公認期間が過ぎるため、コース変更や主会場変更などの検討を行い、準備を進めていく。 (その他の大会) ・健康マラソン、つくば学園ウォークラリー、市長杯サッカー、市長杯オープンテニス、スポーツ鬼ごっこ、荒川区交流野球、TX沿線自治体交流サッカー、スポーツフェスティバルなど					
個別計画	つくば市スポーツ推進計画				活動実績	(つくばマラソン) ※改善目標に掲げたことについて実行委員会で検討して可能なものを対応策として取り入れた。 42.195kmの部、10kmの部を開催。(日本陸連公認コース) <申込人数> 42.195km=14,958人 10km=3,094人 合計=18,052人 <出走者(出走率)> 42.195km=12,547人(83.9%) 10km=2,511人(81.2%) (健康マラソン) 申込人数=1,973名1,544組 出走者=1,526名1,182組 (ウォークラリー) 申込人数=553名153組 参加人数=257名78組 (スポーツフェスティバル) 参加人数=1,107人				上半期活動実績 -				
根拠法令等	スポーツ基本法			成果		(つくばマラソン) ・多目的グラウンドの雨天対策として、特に大型トラックが通る場所を中心に「タフマット」を設置することで、影響を軽減した。 ・ウェーブスタートを改善させたことで、路上の混雑状況を緩和させることができた(5km地点における5分ごとの通過人数が2,469人から1,953人に減少した)。さらに給食や景観も見直し、完走率95.6%という高い水準を維持することができた。 ・交通規制の周知については、電子チラシの活用など市外への周知を増やすとともに、看板も増加させたことで、当日の苦情を減らすことができた。				上半期成果 -				
事業分類	E 補助金・負担金事業				課題	(つくばマラソン) ・沿道応援を増やす取組を行い、市全体で大会を盛り上げられるようにする。 (健康マラソン) ・事前イベントのランニングクリニックについて、定員を大幅に超える申し込みがあるため、開催方法等を検討し、より多くの方が参加できる環境を整える。				課題 -				
執行体制	職員のみ			事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	
事業の目的	(つくばマラソン)市民のスポーツへの意識高揚を図るとともに、つくば市及び全国のランナーの技術向上と交流の場提供のため。 (その他の大会) 各種スポーツ大会を開催することにより、スポーツに対する意識の高揚をはかるとともに、つくば市のPRに努め、スポーツのまちづくりに寄与するため。				有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-					
事業の概要	(つくばマラソン)つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が主催し、筑波大学陸上競技場・多目的グラウンドを中心会場とした日本陸上競技連盟公認コースにおいて、42.195Kmの部、10Kmの部を開催。 (その他の大会) 健康マラソン【2.3,5km】、つくば学園ウォークラリー【グループ歩行】、市長杯サッカー【U15・18】、市長杯オープンテニス【プロ及び県内トップ選手】、スポーツ鬼ごっこ【U9・12】、荒川区交流野球【少年野球】、TX沿線自治体交流サッカー【中学生】、つくばスポーツフェスティバル			評価	効率性 中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-						
ISO 14001	H29 環境関連性	○ 廃棄物発生抑制		達成	総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		H31年度当初積算根拠	理由	-		
	H30 環境関連性	○ 廃棄物発生抑制		達成										
											H31年度当初積算根拠	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	259,297千円	295,151千円	419,196千円	0千円
	総人件費	20,014千円	22,004千円	22,320千円	
	総事業コスト	279,311千円	317,155千円	441,516千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	施設管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	02	11	体育施設維持管理に要する経費

事務事業名	01	体育施設維持管理事業(グラウンド・テニスコート・柔剣道場・体育館)	指標名	利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	体育施設17施設の利用者数				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度			
戦略プラン	-	-	-	-	406,000人	406,000人	406,000人	406,000人	406,000人	406,000人					
	-	-	-	-	実績	414,912人	394,570人	390527人	369,684人	-					
総合戦略	-	-	-	-	H29年度				H30年度						
	-	-	-	-	改善目標	①体育施設における指定管理者制度の導入に関する方向性を定める。 ②体育施設の耐震診断の実施。 ③既存施設の大規模改修とまでは至らないが、利用者の安全面を考慮し、優先順位を設けて順次改修及び修繕を行っていく。				改善目標	①平成32年度からの体育施設の指定管理者制度導入に向けた方向性を定める。 ②体育施設の耐震診断の実施 ③既存施設について、利用者の安全面を考慮し、優先順位を設けて順次改修及び修繕を行っていくとともに、体育館を中心とした大規模改修工事を見据えた既存施設改修計画の策定に着手する。				
市長公約	-	-	-	-	事業計画				事業計画						
個別計画	-	-	-	-	①体育施設の指定管理者制度導入に関する関係各課との協議。 ②つくば市耐震改修促進計画に関する会議に出席し、補助金活用等の情報を収集する。 ③施設の老朽化が進んでいるため、今後も要修繕箇所が確実に増えることが予測されることから、利用者の安全性を確保するために修繕等の維持管理を行っていく。 ・桜総合体育館受変電用真空遮断器等更新工事(10月頃) ・谷田部総合体育館受変電用真空遮断器等改修工事(10月頃) ・谷田部野球場高圧ケーブル・照明配管改修工事(10月頃) ・豊里テニスコートクラック補修工事(8月頃) ・豊里多目的広場グラウンド改修工事(9月頃)				①指定管理者制度の導入に向けて、メリット・デメリットを整理し、公園・施設課等との協議を密に行う。 ②谷田部野球場管理事務所耐震診断業務を行い、耐震性の有無を確認する。 ③閉鎖した谷田部プールの解体や東光台体育館屋根改修工事の大規模工事のほか、利用者の安全・快適に利用できるよう修繕等の維持管理を行っていく。また、公共施設マネジメント計画に整合を図りながら、施設改修の順序や事業費の精査等改修計画の策定に着手する。 ④施設点検は、つくば市公共施設点検マニュアルに基づき運用する。						
	根拠法令等	つくば市体育施設条例				活動実績				活動実績					
事業分類	A 任意的事業				成果				成果						
執行体制	一部委託				課題				課題						
事業の目的	近年の体育施設利用状況をみると、体育施設を利用しスポーツを行う市民は増加している。誰もが気軽にスポーツに親しみ、健康増進を図れるように体育施設を維持管理することが必要であるため。				①有料スポーツ施設を所管する公園・施設課と協議を行った。 ②8月30日に開催された会議に課員2名出席した。 ③施設維持管理：修繕工事29件(うちH28繰越2件)、土木工事6件、施設修繕67件、備品修繕4件を実施した。				①平成32年度からの指定管理者制度の導入に向けて、今後も協議を行っていくこととなった。 ②耐震化に関する市の進捗状況や補助金に関する情報を得ることができた。 ③利用者の安全で快適な施設利用に寄与するための修繕を実施することができた。また、全所管施設を点検し、改修箇所の洗い出し・見積徴収を行い、今後の改修計画策定の際の基礎資料を作成することができた。						
事業の概要	体育施設17施設(体育館7, テニスコート2, 野球場2, サッカー場1, ソフトボール場1, 多目的広場3, 柔剣道場1)の維持管理を行う。				施設が老朽化しており、今後も突発的な不具合が発生し要修繕箇所が確実に増えることが予測される。施設改修計画を策定し計画的な修繕が必要である。				-						
ISO 14001	H29 環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-			
	H30 環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-	評価	有効性			
				評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている	評価	効率性	-	H31年度当初積算根拠		H31年度の方向性	-	理由	-
				評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	評価	総合評価	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	スポーツ振興課	施設管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	02	11	体育施設維持管理に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	259,297千円	295,151千円	419,196千円	0千円
	総人件費	20,014千円	22,004千円	22,320千円	
	総事業コスト	279,311千円	317,155千円	441,516千円	

事務事業名	02	ウェルネスパーク管理事業				指標名	利用者数				指標種別	成果指標				指標の概要	指定管理者によるつくばウェルネスパーク3施設の利用者数					
						目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
戦略プラン	-				実績	252,000人	250,000人	250,000人	250,000人	250,000人	250,000人	250,000人										
	-					246,413人	257,464人	241,988人	240,005人	-												
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-							
	-					今後公認更新(更新は毎年)継続の必要性も考慮したうえで、人工芝の張替工事の実施時期等を検討する。				①フットボールスタジアムつくばについて、平成31年度の張替工事実施を目標に予算を確保する。 ②新たな利用者獲得に向け、パークの運営を活性化するような新規自主事業を計画・実施するとともに、施設の修繕等を行い利用者の安全・快適な施設利用に努める。 ③平成31年度からの指定管理者の更新について、より魅力ある施設となるよう指定管理業務内容を見直す。												
	-																					
市長公約	-				事業計画	施設及び設備等の経年劣化が生じているため、随時、修繕工事等を行いつくばウェルネスパークの運営に支障をきたさないようにする。 【主な工事等】 ・つくばウェルネスパークサッカースタジアム防球ネット補修工事(9月頃) ・つくばウェルネスパーク殺菌剤注入ポンプ・ホース交換修繕工事(2月頃) ・つくばウェルネスパーク二方弁交換工事(6月頃)				事業計画	①日本サッカー協会のロングパイル人工芝ピッチ公認継続・非継続を決定するとともに、年度当初から設計業務の発注や助成金活用に関して関係機関と協議をすすめ、予算要求を行う。 ②施設・設備が経年による更新時期を迎えていることから、随時修繕工事等を行いパークの運営に支障をきたさないようにする。 ③利用者満足度が向上し利用者数の増加につながるよう指定管理期間の変更や委託業務内容を見直すとともに、手戻りの無いよう更新手続きを進める。 ④施設点検は、指定管理者が行っている点検と、つくば市公共施設自主点検マニュアルの整合性を図り運用する。				内訳	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	-										事業費(A)					90,807千円	99,131千円	102,231千円	0千円			
根拠法令等	つくばウェルネスパーク条例				活動実績	フットボールスタジアムつくばについては、人工芝張替に関する概算見積の徴収や県サッカー協会に赴き補助金の活用や公認継続を取り消した際の対応等について意見を伺った。 施設の維持管理については、年度当初予定していたスタジアム防球ネットなど修繕工事10件、土木工事1件、施設修繕5件、備品修繕1件を実施した。				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	A 任意的事业					成果	人工芝の張替工事に関しては、平成31年度の工事発注を目標とし、そのための基礎資料や補助金活用の把握等ができた。 施設の維持管理に関しては、安全性や緊急度等を考慮した修繕を実施し利用者の安全で快適な施設利用に寄与することができた。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	指定管理者				課題		サッカー場人工芝の張替について、平成31年度の工事に向けた予算要求が必要である。 施設の維持管理に関しては、各設備等が経年による更新時期を迎えており、突発的な不具合への迅速な対応が必要である。					課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	指定管理者制度を導入し、民間業者の運営方法を活かした効率的な管理を行うとともに、施設の運営及び維持管理費等を軽減するため。					事業の概要	つくばウェルネスパーク3施設(ヘルスプラザ、セキショウチャレンジスタジアム、スポーツフィールド)の維持管理を行う。						-				その他特財	2,500千円	2,500千円	2,500千円	0千円	
													一般財源	88,307千円	96,631千円	99,731千円	0千円					
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-				改善目標の進捗状況	-						
	H30 環境関連性	-					有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				H31年度当初積算根拠	理由	-			
ISO 14001					効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-				H31年度の方向性	理由			-			
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-											